

【様式 02】高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	25201
----------	-------

1. 開設大学	安田女子大学	開講場所 (キャンパス・施設)	安東キャンパス
2. 科目名	日本文学科で何が学べるか		
	学問分野	番 号	名 称
		11	文化・文学
3. 担当教員	川岸克己、先坊幸子、高木久史、宮岸哲也 (文学部日本文学科)		
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成 27 年 8 月 3 日 (月) ~ 平成 27 年 8 月 4 日 (火) 1・3 回目 10 時 40 分 ~ 12 時 10 分, 2・4 回目 13 時 00 分 ~ 14 時 30 分		
個別開講日	1 回目 8/3	2 回目 8/3	3 回目 8/4
	7 回目 /	8 回目 /	9 回目 /
	13 回目 /	14 回目 /	15 回目 /
5. 募集定員	50 人 * サテライトキャンパスの場合は 50 人以下を原則とします		
6. 科目内容・ 授業計画	●第 1 回「人を惹きつける言葉のちから」 川岸克己准教授 日本文学科で何が学べるか、について総論的なお話をします。日本文学科に進学しても将来役に立たないなどと言われます。役に立つとはそもそもどういうことか、前向きに考えます。つづいて、担当者の専門である日本語学の分野から、キャッチコピーについてお話します。なぜか気になる言葉の仕組みについていっしょに考えましょう。 ●第 2 回「中国の不思議な昔話」 先坊幸子助教 漢文学といえば、故事成語や唐詩、『論語』などの思想というイメージが強いかも知れません。しかし中国にも日本の昔話のように、妖怪や幽霊などが登場する「志怪説話」が沢山あります。この度はそんな不思議なものがたりの世界をご紹介します。 ●第 3 回「地名から歴史を考える」 高木久史准教授 身の回りの様々な地名にも歴史があります。地名の歴史をたどることで、その土地の歴史の変遷を知ることができます。今回は広島市中区猫屋町に注目します。どうしてこのような地名がついたのか、その歴史を探ってみましょう ●第 4 回「知っているようで知らない日本語の話」 宮岸哲也准教授 外国人学習者に日本語を教えていると、私達が普段当たり前のように使っている言葉について質問されても、答えられずに困ってしまうことがあります。そのような日本語から出発して日本語の規則や仕組みについて考えていきます。		
7. 受講料	無料		
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし		
9. 開講条件※1 ない	① 最少開講人数 () 人 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日 (7 月 17 日 (金) 以前の開講科目は 3 月末まで / 7 月 18 日 (土) 以降の開講科目は 6 月末まで)		
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと 女子に限る。		
11. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ から開設大学のホームページにジャンプして確認してください。		

※1 申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。